

シリーズパソコン周辺機器 ⑮

「デジタルカメラ①」

宮杉 浩

今回から数回に渡ってご紹介するのはデジタルカメラです。図書館でも展示会やフォーラムなどイベントの記録、ホームページなどで貴重書を紹介するための撮影、そしてこの館報に使われている写真の撮影にもデジタルカメラが活躍しています。今回紹介するのはコンパクトデジタルカメラについてです。

一般的にデジタルカメラと我々が呼んでいるカメラは正式にはデジタルスチールカメラといい、静止画を撮影することを主としたカメラのことです。動画を中心に撮影するカメラをデジタルビデオカメラと呼んでいます。余談ですが一般的によく使われる「デジカメ」という呼び名はSANYO社の商標登録となっていて、正式には「〇〇社（SANYO以外）のデジカメ」と呼ぶのは正しくないそうです。ご存じだったでしょうか。

デジタルカメラは従来のフィルムカメラと異なり光学センサを用いて被写体をデジタル画像データとして内部記憶装置（SDカードなどの記録メディア）に記録します。フィルムのように枚数の限りがなく記録装置の容量分撮影ができ、またデジタル画像のためパソコンなどでの加工も容易ということで、従来のカメラより飛躍的にニーズが拡大していったのです。そして何よりも異なるのが撮影された画像を実装された液晶ディスプレイですぐに確認できる点にあります。すぐに写り具合を確認でき、またデータ消去ができますので、何度も取り直せ、フィルムのように枚数を気にする必要もありません。この事がカメラ撮影をよりお手軽で身近なものとしていったと考えられます。

さて、そのデジタルカメラの中でも一般的にコンパクトデジタルカメラと分類される小型のデジタルカメラはその手軽さと低価格によって今やカメラの主流となりました。手ぶれ補正機能や顔認識機能、逆光補正機能など撮影をより容易なものとする機能が数多く搭載されているのもデジタル機器ならではのもので、各メーカーとも様々なタイプを次々と発表し、しのぎを削っています。かつては比較的苦手としていた高解像度撮影や高ズーム機能も技術の進化と共に向上し、フィルムカメラと遜色ない仕上がりの撮影ができるようになってきました。プリンタやお店でのプリントも容易なため、皆さんの中でもコンパクトデジタルカメラが使われている方はきっと多いことだと思います。なお、よく宣伝で「このデジカメは〇〇〇万画素です。と云うフレーズを耳にされるかと思いますが、L判と呼ばれる一般的な写真サイズにプリントする際にはあまり画素数の違いは関係が無いそうです。ですので、コンパクトデジタルカメラを購入するには価格や撮影補助機能、もしくはデザインなどを中心に考慮されたほうが良いと思われます。

コンパクトデジタルカメラよりさらに性能の高いものがデジタル一眼レフカメラと呼ばれる中・大型のカメラです。今回はデジタル一眼レフカメラの話を中心にさらにデジタルカメラについてお話ししたいと思います。

みやすぎ ひろし（係長補佐・管理運営課）